



複合災害の対策討論

東日大でシンポジウム開く

日本 CBRNE 学会と、東日本



国際大学健康社会健康戦略研究

所は十月十五日、同大で共同シ

ンポジウム「複合災害(CBRNE

災害 対策へのアプローチ東

日本大震災から12年、今後の課

題解決を探る」を開いた。

CBRNEとは、化学(Chemical)、

放射性物質(Radiological)、核

シンポジウム開催にあたり、

あいさつをする石井理事長

(Nuclear)・爆発物(Explosive) 災害の頭文字を取って使用される災害対策用語。

同学会は、日本、世界で発生が想定される同災害の実態と対策などの理解を深めるため、活動を行っている。

本誌誌上で今年七月号から九月号まで関連記事を連載していた、石井脳神経外科・眼科病院の理事長で、同学会の理事長も務める石井正三氏が中心となって立ち上げられた。

会の冒頭のあいさつで石井氏は、「今日この後、何かあったとしてもすぐに役立つような知識を身につけてもらえるような会になれば」と、語っていた。

シンポジウムは、四倉町の木田医院、木田光一院長が「東日本大震災の医療活動で感じたこと」と題した講演から始まり、

医学界、元自衛隊関係者、同大関係者などが参加した討論会などが行われ、活発な意見交換

を思いおもいに楽しんでいた。

が行われていた。

木久蔵さんが講演

「笑いの効能」語る

ひまわり信金百周年



ひまわり信用金庫「創立百周年記念」の文化講演会が十一月十日、いわき芸術文化交流館(アリオス)で開かれ、落語家の林家木久蔵さんが「木久蔵流、笑うが一番」Ⅱ写真Ⅱと題して笑いの効能などを語った。

木久蔵さんは、テレビ番組「笑点」に出演する林家木久蔵さんを父に持ち、二〇〇七(平成十九年)に二代目木久蔵を襲名。

講演では、軽妙な語り口で自己紹介をしつつ、「感情豊かに過ごすことが健康につながる」と説明。父親が喉頭(いんどう)がんを克服した際、「本当の幸せは、何気ない一日を朝から晩まで普通に過ごすこと」と語ったエピソードを明かし、「健康のために笑ってほしい」と呼び掛けた。

この日は、木久蔵さんらによる落語も披露され、会場を埋めた来場者からは大きな笑い声が響いていた。

今回の講演会は、同金庫の女性サークル「ひまわり会」と「年金友の会」の合同開催で、四十三回目。

五浦観光ホテル

17日にお笑い

ものまねショー

北茨城市大津町、「五浦観光ホテル」は十二月十七日、恒例の「2023クリスマスパーティー」お笑いものまねショー」を開く。

昨年までコロナ禍で中止されていた人気企画が復活。出演するのはレディー・ガガ、MISIA、坂本冬美、八代亜紀などのものまねで知られる、タレントのレディーエリカ。日本テレビ系「ものまねバトル」出演で人気を博し、各局のものまね番組、CMなどにも多数出演。

昼のランチタイムとショーが正午〜午後一時半。夜のディナータイムとショーは午後六時〜同七時半の二部構成。

料金は昼夜ともに、一人当たり一万二千円(税・サービス料込み)。チケット購入者は、一人当たり、一人一室の利用で八千円(二泊朝食付き、サ込税別)、二人一室の利用で六千円(同)の追加料金で優待宿泊できる。

詳しくは、同ホテル(電話

〇二九三三四六一一一)まで。

和気あいあい バーベキュー

常磐上矢田町、軽費老人ホーム「悠々の里」(岡田健一施設長)は、先ごろ、同所敷地内でバーベキューを開き、利用者と家族、地域住民らが満喫した。

例年、同施設利用者のみで行われていたが、地域住民との交流を深めるため、今回は同施設

の子ども食堂を利用する三家族も参加。

二組の大道芸人を招き、のんびり&マリアのバルーンアート、パントマイムや現役アーティストなども盛り上げた。

利用者は、普段の日常生活から離れ、いつもとは違う時間

バーベキューを楽しむ利用者

バーベキューを楽しむ利用者

バーベキューを楽しむ利用者



バーベキューを楽しむ利用者